

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における

木材利用等に関するワーキングチーム（第5回）

議事概要案

1. 日時：2019年1月24日（木）11:00～11:55
2. 場所：合同庁舎8号館5階 共用会議室A
3. 出席者：

諸戸 修二	内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局企画・推進統括官 <座長>
中川 真	内閣官房新国立競技場の整備計画再検討推進室総括審議官
下野 浩史	内閣官房新国立競技場の整備計画再検討推進室審議官
藤江 陽子	スポーツ庁審議官
菱沼 義久	農林水産省大臣官房生産振興審議官（兼生産局）
渡邊 毅	林野庁林政部長
岩下 啓希	国土交通省大臣官房審議官（官庁営繕）
小林 靖	国土交通省大臣官房審議官（住宅）
草野 智文	東京都オリンピック・パラリンピック準備局施設整備担当部長
斉藤 有	東京都オリンピック・パラリンピック準備局選手村担当部長
村西 紀章	東京都産業労働局全国育樹祭担当部長
五嶋 智洋	公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会場整備局技術管理部長
荒田 有紀	公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会持続可能性部長
高橋 武男	独立行政法人日本スポーツ振興センター総括役

<事務局>

- | | |
|-------|--------------------------------|
| 勝野 美江 | 内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局参事官 |
| 猪島 康浩 | 林野庁木材産業課長 |
| 長野 麻子 | 林野庁木材利用課長 |

4. 議事要旨

- ・ 諸戸企画・推進統括官より挨拶。

【内閣官房オリパラ事務局統括官】

東京大会まで一年半を切り、計画から実行段階に入っている。競技会場の建設も進んでいる中、今後は本体そのもののほか、内装や備品など細かいところにも移っていくが、機会を最大限に活かしつつ、木材の利用を進めていきたい。

- ・ 各構成員から資料に基づき、「各機関からの情報提供について」を報告。

・意見交換の主な内容

【スポーツ庁審議官】

農水省から紹介のあった国産畳の活用事例に関連し、1964年の東京大会では日本武道館において、七島藪（しちとうい）という国産いぐさが敷かれていたと聞いており、こうした形でスポーツに限らず、文化も含めて国産畳等を活用するということは、日本文化の魅力発信や地方創生、地方活性化に繋がっていく良い機会。

【林野庁林政部長】

先日、木材の調達基準も改定されており、これからまた調度品等について調達が始まるということなので、木材利用に当たっては、各主体において木材の調達基準に則り適切に木材の調達が行われるようお願いしたい。

【内閣官房オリパラ事務局参事官】

活用した木材に関し、産地名を表示する予定はあるのか。また、什器・備品の公募はいつごろになりそうか。

【東京都産業労働局】

多摩産材を使用した什器に関しては、一部を除いて「東京の木・多摩産材」という木でできたプレートを貼り付けている。

【新国立競技場（JSC）】

都道府県産の木材の表示手法については、現在検討中。

【内閣官房オリパラ事務局統括官】

先程、林野庁から木材活用事例を紹介してもらったが、一番注目を浴びるという意味で、今後大会関係の表彰や会場関係のベンチなど備品への利用可能性はどうか。

【組織委員会】

全体としてコスト縮減の課題がある。詳細については担当 FA にて検討中と聞いている。

【新国立競技場（JSC）】

什器・備品に関しては木材の使用も予定。特に、人目に付くホスピタリティエリア（おもてなし空間）などでの活用が想定される。なお、調達に当たっては、ビジネスチャンスナビも活用し公告を周知予定。

・閉会